

優秀賞

「年寄りの言う事は」

おかや くらべい (P.N.)

癖をネット検索すると「無意識に行う習慣的な行動」とある。これも癖になるのだろうか。私の場合、食後すぐ横になることだ。それも物心ついたころからである。祖母から「食べてすぐ寝ると牛になる」と耳に^{たこ}胼胝ができるぐらい言われ、軽い運動でもしてからでないと横にさせてもらえなかったことをいまだ懐かしく思い出す。その後口やかましく言われることもないことから、食後すぐ横になることは今では常態化している。

本学を卒業後も仕事を持たず、期限内にレポート課題を提出する必要もなく、ましてや、コロナ禍で外出自粛を余儀なくされ、これといった趣味を持たない私にとって成すべきことが見つからない。そのため横になったままつい1~2時間熟睡してしまう。毎食後だから合計すると一日の半分近くが睡眠時間となる。家人からはあきれられ、すぐ目が覚めて眠れないとの同世代の知人からは羨ましがられている。

食後横になり胃腸を休めることは理に適っているという。だがそのまま熟睡すると脂肪として蓄えられるため肥満の原因になるらしい。現に体重は増加傾向でメタボ腹はベルトの穴は後がない。

祖母は迷信を信じていたのか、それとも行儀の悪さを直す躰の一環であったかは不明だが今思えば本質を突いていたことになる。年寄りの言うことは迷信めいて根拠がなく非科学的であると思っていたが、同世代に入った今考えてみると理に適ったことが多いのではないか。ことわざにも「年寄りの言う事と牛の^{しりがい}鞆は外れない」とあるように真摯に耳を傾けておくべきであったのだ。緊急事態宣言が解除されたら久しぶりに牛にひかれて祖母の墓参りをしてみよう。